

わ げん あい ご

和顔愛語

真生会富山病院だより

2006
VOL.7



地域の方から親しまれる
訪問看護ステーションを目指します。

真生会
訪問看護ステーション
こころ
スタート!



リハビリテーション棟
稼動中!



interview

情熱の白衣

内科医師 よし だ よし まさ
吉田 良昌

●インタビュー

看護部副部長 きだ まゆみ
木田 真由美

「アンチエイジング」

皮膚科医師 はな かわ ひろ よし
花川 博義



医局長 外科医師 整形外科医師
ほん だ まさ はる おの た さとる
本多 正治 太田 悟



ご案内

診療案内

診療科

内科・消化器科・外科・小児科
整形外科・耳鼻咽喉科・皮膚科
眼科・心療内科・精神科・神経科
麻酔科・リハビリテーション科
放射線科・泌尿器科・歯科

診療日・外来受付時間

平日 午前8時30分～午前11時30分
午後4時30分～午後7時30分
(内科のみ) 午前8時30分～午前7時30分
土曜日 午前8時30分～午前12時
休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

24時間救急診療

全科往診在宅診療

保険証は、毎月提示をお願いしています。必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では原則として「院外処方」としております。当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとってください。

24時間救急診療のご案内

真生会富山病院では、診療時間外の急な病気に対し、年中無休で24時間日当直医が対応しております。

平日 午後7時30分から翌朝9時まで
土曜日 午後12時から
日・祝日 救急診療24時間対応

●救急診療受付電話

☎ 0766-52-2156

※来院する前になるべくお電話を。
※保険証は忘れずお持ちください。

検査課スタッフ



日常業務の様子

中央検査課は、臨床検査技師11名、事務1名の総勢12名で構成され、新館2階「中央検査室」と別館1階「内科検査室」の2ヶ所で日々の業務を行っています。

検査課では、主に二つの仕事があります。一つは血液や尿、便などを扱う検体検査です。患者様と直接接することはありませんが、血液中のさまざまな成分を器械で測ったり、尿に糖や蛋白が出ていないかを調べたり、尿中の細胞を顕微鏡で数えるなどしています。また、手術や治療のための輸血検査も行っています。

日常の検査の流れは、医師の書いた検査依頼書を見て、依頼項目をコンピュータに入力し、各検査を行います。検査結果はオンラインで送られ、各外来各病棟で見ることが出来ます。報告した検査結果が直接治療に反映されますので、どの段階でもミスの無いよう、検体の取り扱いには十分に注意を払い、検査依頼書と検体の名前は合っているか測定ラベルの貼り間違い、検査項目の入力漏れはないかなど、複数の

診療側に提供できるように心掛けています。もう一つは、生理検査と呼ばれる検査です。心電図検査・超音波検査・呼吸機能検査・脳波検査・脈波検査などがこれにあたります。直接患者様に接して検査をしています。生理検査では、検査に対する知識や技術が必要なのはもちろんです。患者様が検査に対して不安を抱かれています。不快感や苦痛を伴う検査もありますので、わかりやすい検査の説明と明るくさわやかな対応を心掛けています。

また、当検査室では特に超音波検査に力を入れています。超音波検査士という認定資格があり、現在県内でもトップクラスの6名が資格を取得しています。さらに技師全員の資格取得を目指し、日々知識・技術の向上に努力しています。

今後も救急対応・診断のレベルアップに貢献できるように、日進月歩の医療に柔軟に対応し、患者様に安心して検査をまかせていただけるような検査室を目指します。

検査課

患者様に安心して治療を受けていただけるよう、正確かつ迅速な検査結果の提供に努めます。



技師で確認しています。また、検査機器の点検や精度管理は念入りに行い、万が一トラブルが生じたときも即座に対応し、正確な検査結果をいち早く

真生会富山病院 第5回医療安全講習会開催

4月8日、フリージャーナリスト 辰濃哲郎氏を講師に、第5回医療安全講習会を開催しました。多くの医療事故を取材した氏は、患者家族の痛切な生の声を紹介。患者のための医療の実現を訴えかける講演に、参加者は「患者様にとって何が最善の医療なのか、を常に考えることが重要と再確認しました。」などと感想を語っていました。



糖尿病・肝臓教室

開催のお知らせ

糖尿病・肝臓病の基礎知識、日常生活の注意点、食事など、毎回異なった内容を、医師、看護師、管理栄養士などがそれぞれの立場から説明いたします。糖尿病、肝臓に不安をお持ちの方はもちろん、興味のある方、ご家族の皆様もお気軽にご参加ください。

糖尿病教室は、毎月、第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時
肝臓教室は、毎月、第3土曜日 午前10時～午前11時
新館5階大講堂で開催されます。

●糖尿病・肝臓教室に関するお問い合わせは…
TEL0766-52-2156 新館1階「総合受付」まで

新規事業拡張につき

スタッフ募集

- 正看護師 …… 10名
- 視能訓練士 …… 若干名
- 診療放射線技士 …… 若干名
- 作業療法士 …… 若干名
- 管理栄養士 …… 1名
- 歯科衛生士 …… 若干名

応募資格/免許有資格者
(取得見込み者を含む)

※勤務時間等、詳細はお問い合わせください。

●スタッフ募集に関するお問い合わせ
TEL0766-52-2156 人事担当/吉田

医療法人 真生会

真生会富山病院

〒939-0243 射水市下若89-10 TEL0766-52-2156 FAX0766-52-2197
http://www.shinseikai.jp

内科医師 地域医療部長 **吉田 良昌**

●インタビュー
看護師副部長 **木田 真由美**

患者様に安心して まかせてもらえる説明を心がけています

スタッフは宇宙船のクルーではないでしょうか。誰ひとり欠けても船は進みません。同じ船に乗り合わせたのですから、皆で仲良く助け合っていきましょう。

医学の道を志された「出会い」をお聞かせください。

小学生のころは、スポーツ選手か、宇宙飛行士になって銀河系を探検してみたいと思っていましたが、身近に見える月にさえ、簡単には行けない現実を知り、あきらめました。医者になろうと決めたのは、別に大志があったわけではありません。中学生の時に、身の二人を病気で亡くしたことをきっかけに、医療に関心を持ち始めたのです。また、高校生の時、親友二人がバイクで自動車に突っ込んでしまい、救急車で病院へ運ばれました。急いで駆けつけた時、その病院のドクターがすごくかっこよく、とても頼もしく思え憧れを抱きました。幸い親友は後遺症なく元気に退院。こういったことがきっかけになったのか、高校生のころには進路を一本にしほりました。バイクにはその後も乗りましたけど。

仏法精神に基づいた医療の実践について先生の目指すところをお聞かせください。

みなさんと同じです。いつも教えていただいていることを実践できるように努めています。他にはと言えば、患者様に安心してまかせてもらえるような説明を心がけています。格闘技では、「技は力の中にあり」といわれます。力があってこそ、全ての技が有効になるということです。これを医療に置き換えますと、患者様への説明は、臨床経験と正しい理論に裏づけされた病気の理解の上に成り立つということです。長々と分かりにくい、雲をつかむよう



内科医師、地域医療部長、病棟医長
吉田 良昌

【専門分野】
呼吸器疾患一般
【認定医・専門医】
日本内科学会内科専門医、日本呼吸器学会指導医
医学博士

やせたいと願う女性は多いですが お腹が「グー」と鳴る時間がきたらチャンスです

とが多いので、さまざまな分野に精通したドクターとのディスカッションの場に行けるだけ出て、勉強を続けようと考えています。

多忙な日々の中、先生は健康管理に関心が高いとお聞きしますが、スポーツなどストレス解消法に何か取り組まれていることはありますか？

どなたからそういうことを聞かれたかは知りませんが、学生時代から体育会系のクラブに入っていたので、好きだけです。時間はありませんが、30分でも運動するようにしています。一人でスポーツしてもつまらないので、迷惑を顧みず、親しい人に声をかけています。同じ趣味の人は不思議と集まるものです。聴診器を首に巻いているドクターは普通ですが、大学病院で、突き出たお腹に聴診器を器用にさせて歩くドクターを見たことがあります。それで食事療法の指導はないでしょう。以前真生会で、一般の方向けのフィットネスクラブを造ろうと言う話がありました。将来実現できればいいと思います。これからの長寿社会、どうすれば元気で長生きできるのか。80歳で元気に畑仕事をしている人もいれば、寝たきりの人もいます。『この違いは何か。』医学は、いつかこの問いに明確

な答えを出さなければなりません。もちろん、皆さんは前者を望まれるでしょう。生活習慣病の予防に運動が効果的であることは間違いありませんが、若いときに運動をした人が長生きできるといふことは一概には言えません。

しかし、一つ言えることは、元気で長生きできるかどうかは、足が丈夫かどうかで決まるといふことです。自分の両足でいつまで歩けるかが鍵です。富山県はスポーツが盛んで、バドミントン、テニス、ビーチバレーなど、夜間の時間帯に捜してみれば、どこかの体育館でやっていますよ。みなさんも顔を出されたらどうでしょう。

最後に、体を動かす時間が少ない、でも、痩せたいと願う女性は多いですね。簡単です。お腹が「グー」と鳴る時間がきたら、脂肪が燃焼し始めています。この時がチャンスです。ここで辛抱すれば痩せられます。

病棟医長として、スタッフをととても大切にされていますが、どのような病棟作りを目指されていますか？

スタッフは宇宙船のクルーではないでしょうか。誰一人欠けても船は進みません。同じ船に乗り合わせたのですから、皆で仲良く助け合っていきましょう、というのがモットーです。次か

ら次へと入院があり、看護師、助手、医事課のみなさんは相当実力をつけているのではないのでしょうか。今後は、医師とスタッフとの情報の共有がもっと進むと思います。症例検討会では、看護師と薬剤師の参加があたりまえの時代がくると思います。アメリカではかなりそのようななっています。私達の病棟でも、スタッフ間でのコミュニケーションをより濃厚にしてゆきたいと思っています。クリニカルパスについては、まだまだ全てに実用化するのは難しいですが、今後の課題と思います。

地域医療部の活動を通して先生の夢や抱負を聞かせてください。

近隣医療機関との連携、医療福祉の相談、在宅介護の支援を主な仕事にしています。近隣機関の方はかりでなく、いまだ当院に足を運ばれたことのない方々にも真生会を知ってもらえる架け橋になりたいと考えています。

また、お互いの医療を公開して地域全体の医療レベルをアップしてゆきたいと思えます。最近、真生会の月1回の合同カンファランスをとても楽しみにしてくださる開業の先生もいらっしやいます。おかげでいつも患者様を紹介してもらっています。

皆様も地域医療部へお気軽に来てください。えつ、どこにあるか知らない？本館の聴力検査室の隣ですよ。スナックとドリンクを用意して待っています。突然、音楽のセッションも行われますので、飛び入り大歓迎です。



看護部副部長
木田 真由美

医療技術が高度化、多様化する中、患者様は医療に対し、ますます難しさやわかりにくさを感じられることもあると思います。

医療は患者様のためにあります。患者様の生活のサポーターとして患者様の声をチーム医療の中に届け、お一人お一人に合ったよりよい医療を受けていただけるよう看護スタッフ一同、努力していきたいと思います。

アンチエイジング



皮膚科医師
はなかわ ひろよし
花川 博義

アンチエイジング(皮膚の若返り)という言葉をよく見聞きするようになりました。巷には美容に関する情報が氾濫し、何をしたらよいのか迷う人も多いと思います。当院皮膚科でおこなっているアンチエイジング治療を中心に説明いたします。

ニキビ、ニキビ跡、くすみ、しみ、小じわ、たるみ

「ケミカルピーリング」という方法と「イオン導入・超音波導入」という方法があります。

「ケミカルピーリング」とは、弱い酸を顔にぬることにより、角質や汚れを取り除き、皮膚の再生と再構築を目指す治療です。軽いピリピリとした痛みがあります。

「イオン導入・超音波導入」とは、電圧や超音波の力でビタミンCなどの栄養分、シワをのばす成分を皮膚に浸透させる治療です。顔に有効成分の入ったジェルをぬり、プローブで約10分間マッサージします。1回でもそれなりの効果はありますが、2~3週間に1度の治療をお勧めします。



施術前 施術後(1回)

シミ、そばかす、青アザ、茶アザ、いれずみ

アレキサンドライトレーザーで色素のみを破壊します。痛みはほとんどありません。レーザー部は約1週間、色が黒くなりますが、お化粧品で隠すことができます。レーザー後、色素が取れるまで1~3ヶ月かかります。1回の施術で色素が取れることもあります。「アザ」や「いれずみ」は数回の施術が必要です。

ホクロ

局所麻酔をして炭酸ガスレーザーでホクロを焼きます。施術は約15分です。2~3週間はレーザー部位にテープを貼ります。

理学療法

何らかの原因で身体の機能に障害をもった方に筋力の増強などの運動療法、温熱・電気などを使った物理療法を中心に、動作能力の回復をはかります



理学療法士
おかもと せいこ
岡本 聖子

新しいリハビリ棟が建ったことで、広々とした空間と、充実した設備が整い、みなさまにより満足して頂けるリハビリテーションを提供することが出来るようになりました。新しいリハビリ棟で、壁一面のガラス窓から四季折々の景色を楽しんでいただきながら、心休まるひと時を過ごしていただけたらと思います。

これからもみなさまに、今まで以上に質の高いリハビリテーションを提供させていただきます。安心と満足を感じていただけたらと思います。

作業療法

身心機能や日常生活動作に不都合のある方に対して、機能訓練や日常生活動作訓練を行い、その能力の改善、維持をはかります。



作業療法士
いわい まさみ
岩井 雅美

今回リハビリ棟が完成し、今までより広い空間でゆったりと、充実したリハビリを行なう事が出来るようになりました。

リハビリ棟では、より生活に密着した治療が行えるように、新しく日常生活動作や家事動作等のリハビリ設備も整えられました。

これからも患者様に、より生き生きと、明るく生活して頂けるよう、患者様お一人お一人に合わせた作業療法が行えるように頑張らせて頂きたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

言語療法

音声機能・言語機能または聴覚に障害を持つ人に対してその機能の維持向上を図るため、言語練習や検査、助言、指導を行います。



言語聴覚士
リハビリ課副主任
おおかわ ちえ
大川 千恵

今まで言語聴覚士は、「言葉や「食べることに障害のある方のリハビリを、耳鼻科外来近くの訓練室で行ってきましたが、このたびリハビリ棟に隣接した場所にも訓練室ができました。

おかげで、言語療法と合わせて理学療法と作業療法も行っている患者様は、「リハビリのかけもち」がスムーズに行えるようになりました。また、静かで明るい訓練室なので、落ち着いてリハビリを受けて頂けると思います。

今後、患者様の言語機能が改善し、患者様ご家族の心の傷が少しでも回復するよう努めていきます。

リハビリテーション棟オープン

疾患別リハビリテーションを形に。



整形外科医師
おおた さとる
太田 悟

【専門分野】
骨折外傷、関節(肩、股、膝)外科、腰痛、椎間板ヘルニア、リウマチ、リハビリテーション
【認定医・専門医】
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本リハビリテーション医学会臨床認定医、脊椎脊髄病医、義肢装具適合判定医、医学博士

真生会富山病院のリハビリ施設は、平成12年5月病院オープン時、整形外科外来に隣接した場所で、運動療法、作業療法を中心に、物療、水治療、マッサージを組み合わせた、135㎡のリハビリ室としてスタートしました。腰痛・肩こりなどの慢性疾患、また手術後や、脳卒中、労災事故などに対する急性期リハビリなど、地域の皆様のニーズにできる限りお応えできるよう、スタッフ一同日々患者様の声に耳を傾け、痛みや障害を和らげ、安心満足をお届け出来るリハビリに努めてまいりました。そのリハビリ室もオープン2年余りで患者様の増加に伴い手狭となり拡張を望む声が高まりました。

そこで、今までの約3倍の広さをもつリハビリ棟を新たに増設し、平成18年1月に移動することができました。十分な運動療法のスペースが確保され、物療、運動訓練機器も更に充実すると共に、今年度から始まる、運動器リハビリテーションや脳血管疾患等リハビリテーションなど疾患別リハビリテーションにも十分対応することが出来ます。真生会富山病院のリハビリテーションを、さらに成長させることで、患者様のご期待に添える医療に邁進してまいります。



リハビリ棟



プラットフォーム
マットの上でストレッチや筋肉の力をつける運動をします。



牽引器
首や腰を引っ張って神経の圧迫や筋肉の緊張を取り除きます。



平行棒
両手で手すりにつかまりながら歩行訓練をします。



昇降代
階段の昇り降りの訓練をします。

訪問看護ステーション

OPEN

訪問看護は、在宅で療養を希望される方が住み慣れた家で快適な療養生活が送れるよう支援する在宅サービスです。専門の看護師やリハビリスタッフが自宅を訪問して、患者様の状態に応じた看護、療養のご相談、(かかりつけ医) 主治医の指示のもと、連携して医療的なケアや看護・リハビリを行い、ご本人だけでなく支えているご家族もサポートします。

訪問看護ステーション
オープンを迎えて



真生会訪問看護ステーション
ころこ
なかいともこ
所長 中井ともこ

ピンクのポロシャツにジャージ、白いシューズ、雪の日は長靴をはきます。そうです！私たちは、訪問看護師です。通院が困難な患者様の為にこちらから伺います。

訪問看護とは、「主治医の指示にもとづいて看護師が訪問し、身体が不自由な方や高齢の方などに住み慣れた家で安心して療養して頂けるようにサポートすること」です。

例えば、「寝たきりになってどう介護したらよいか分からない」「床ずれができてしまった」「酸素吸入、人

工呼吸器や尿管カテーテルの管理が必要」「家でもリハビリを続けたい」など、自宅療養を続けられる上で、困ったことがあればいつでもご相談ください。

在宅医療が推進される昨今、当院では10年以上より訪問看護を始めました。

年々利用者数が増え、地域の皆様のご協力もあり、平成18年4月1日より訪問看護ステーションを開設することができました。今までと大きく違うところは、他の医療機関にかかりつけ医がおられる患者様でもその医師の指示にもとづいて、真生会の訪問看護をご利用頂けるということです。

訪問看護ステーションの名前は、「真生会 訪問看護ステーション ころこ」です。パンフレットの表紙一面には花束を描きました。「花束をもらった時のような気持ち」そんな心になっていただけたらという私たちの願いです。

これからも心のこもった看護に技をそえてお届けしていきたいと思っております。



かわはらまさみ
川原 正美
「医療処置の必要な方でも、在宅で安全に生活ができるよう援助致します。」

かわすじひろみ
副主任 川筋 博美
「いつでも、相談できる場所として、24時間対応をし、安心感をお届けします。」

まつもと はるえ
松本 治恵
「明るい笑顔と心のこもったケアで、患者様、御家族の方に寄り添える看護を致したいと思っております。」

おくだ まゆみ
奥田 真由美
「各かかりつけ医師や、ケアマネジャー等と連携を図りながら、地域に密着し、患者様が望まれる生活ができるよう努めていきます。」

看護部 教育部会

患者様に安全安心、満足の看護ケアをお届けできる人材育成を



定例会の様子

近年の医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、看護職員が安全に業務を遂行する為には、看護師のレベルアップを図る組織的な取り組みが必要です。

看護部教育部会は、平成17年度の目標を「専門職業人として、主体性や自立性を持ち、質の高い看護サービスを提供できる人材を育成するための教育計画の立案、実施、評価を行う」と設定し活動してきました。

現在、部会メンバーは14名。「新人看護師を育成するチーム」と、「勉強会の推進や研修案内をするチーム」の2チームで活動しています。ここで主な活動内容を紹介します。

新人教育チームは、厚生労働省からの基準にそって、新人看護職員の教育年間プログラムを作成しました。新人看護師が少しでも早く職場の雰囲気慣れ親しみ、一人前の看護師として仕事ができるようにするためです。注射の実技講習や

救急看護、接遇などの勉強会を計画的に開催しています。また、相談役の先輩看護師がペアを組み、技術の習得度を評価するためにチェックリストを使用しながら指導しています。

院内勉強会・研修案内チームは、主に研修参加を啓発し、研修の学びを看護部朝礼で発表する場を提供し、知識の向上に役立っています。また、医師や検査技師による心電図の勉強会や、院外から講師を招いて介護保険制度について学ぶなどニーズに合わせた勉強会の開催を心がけています。

新人看護師の教育は、看護師の基礎を作る極めて重要なものです。昨年度の新人看護師から「一人一人の患者様に合わせ、個別的な自立支援を見極めて実践する事の重要性を認識できました。これから先、様々なケースに対応するためにはもっと多くの知識と経験が必要だと痛感しました。同時に、看護師の関わり次第で、患者様の可能性が広がり、良き回復過程を送れ、看護師自身も達成感を味わう事ができる楽しさを感じました」という声が聞かれています。

今後も新人の時期から生涯にわたる継続的に自己研鑽を積むことができる教育体制を整え、より安全で、患者様に安心・満足して頂ける看護ケアをお届けできる人材育成に取り組んでいきたいと思っております。

ちょっと一言

ほっとできる施設環境の構築を目指して

患者様が安心して治療を受けて頂けるよう、施設環境の整備に取り組んでいます。特に、空調管理は重要な為、心地よい室温で過ごして頂けるよう、季節や時間帯、場所に応じて温度を調節しています。

また、清潔な環境を保てるように日々、院内の状況を確認しています。時々、患者様から聞

管理課 原 彩希子



く「きれいな病院やね」の声が、何より嬉しく思います。来院された方が、ほっとできるような施設環境の構築を目指して、研究工夫していきたいと思っております。

私のおすすめ SPOT



医事課 郷倉 美貴

私のおすすめする店は、美容院「gouf.co(グフ.コー)」です。旧小杉町のラポール前通りには最近新しいお店が続々とオープンしています。その中心に「グフ.コー」はあります。前を通らる「何のお店だろう?」と思われる方も多いのでは。中学時代からの友人であるオーナーは、東京で技術を学び20代で自分のお店を開きました。店内のインテリアも落ち着いていてゆっくりとくつろげます。予約制ですが、夜は22時まで予約が入られるのでお仕事帰りに立ち寄る事も十分にできます。お客さんは主婦の方や学生、小さなお子さんなど色々ですが男性でも気軽に入れます。オンリーワンでゆっくりとして頂きたい、というのがテーマだそうです。ぜひ行ってみてください。

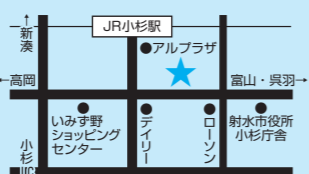


お客さま一人ひとりが「グフ.コーに来てよかった」と思っていたらいいな。日々の技術アップと、アナタだけのオンリーワンでありたいの思い、温かみのあるお店づくりを常に心がけ、アナタにハッピーな時間をお届けします。駐車場もあります。「何度でも鏡に見とれてください。お客さまと身近な関係でいられる人になりたい。そしてお客さまのオンリーワンになります。」と語るオーナーの川口麻希さんと愛犬のアンディ。

Hair make グフ.コー

〒939-0351 射水市戸破1730-2
Phone/Fax 0766-57-1833

- 定休日/毎週月曜日、第1・3日曜日
- 営業時間/11:00~22:00(予約優先)
- 駐車場完備



訪問看護ステーション Q&A

- ここが知りたい
- Q** 訪問看護は誰が来てくれるの?
 - A** 看護師や保健師、または理学療法士や言語聴覚士が訪問致します。保険・医療現場での十分な経験、専門の研修を受けたスタッフが担当させていただきます。
 - Q** どうすれば訪問看護を受けられるの?
 - A** 医療保険の場合 ●真生会看護ステーションにご相談ください。
 - Q** かかりつけの医師にご相談ください。適切な訪問看護ステーション、病院等の訪問看護機関に指示が出て訪問看護サービスを提供します。
 - Q** ケアマネジャーに相談ください。介護保険の「要介護認定」を受け、要支援・要介護に認定された場合は、ケアマネジャーがサービス計画を立て、調整します。そのサービスに、訪問看護も含まれます。その時、ケアマネジャーに「週に〇回、訪問看護を受けたい」などの要望を伝えてください。ケアマネジャーは、利用者のご要望を最優先に、サービス計画を立案します。